

農業環境技術公開セミナー in 福島

「農業環境技術公開セミナー in 福島」が平成20年9月18日(木)、農業環境技術研究所と福島県農業総合センターとの共催により、福島県農業総合センター(福島県郡山市)で開催されました。このセミナーは、農業環境技術研究所と都道府県・市町村の間での相互理解と連携・交流・協力関係を深めることを目的としたものです。当日は地元福島県および県内の市町村関係者、



福島県農業総合センター岡所長の開会あいさつ
(写真提供：福島県農業総合センター)

近隣の農業関係者や市民など、約100名の方にご来場いただきました。

本セミナーでは農業環境問題に関する最近の研究成果が、講演とポスターによって紹介されました。多目的ホールで行われた講演では、農業環境技術研究所から「地球温暖化が作物生産に及ぼす影響」(吉本真由美)、「外来植物と農業生態—アレロパシーの機能と利用—」(藤井義晴)、「より安全な土壌消毒法をめざして」(小原裕三)に関する話題提供を行いました。また、福島県農業総合センターからは、「水田からのメタンの発生を抑えるための水管理」(齋藤隆生産環境部副主任研究員)や「ふくしま型有機栽培の拡大」(小澤一夫有機農業推進室長)の研究成果が紹介されました。

ポスター展示は多目的ホールに隣接する成果展示室で行われ、農業環境技術研究所と福島県農業総合センターから、それぞれ平成19年度の代表的な研究成果が紹介されました。講演・ポスター発表会場では、それぞれの発表に対して参加者が熱い議論を展開していました。

(連携推進室 齋藤 貴之)

アグリビジネス創出フェア2008

平成20年10月29日、30日の2日間にわたり、東京国際フォーラム展示ホールにおいて、「アグリビジネス創出フェア2008」が開催されました。

このフェアは、農林水産・食品産業にかかわる新しい技術や研究成果の実用化・産業化を推進するため、農林水産省が主催して毎年行われている技術交流展示会です。210の企業・大学・団体がブース展示を行い、2日間で1万人をこえる来場者がありました。

農業環境技術研究所は、「未来につなげよう 安全な農業と環境」というテーマで展示ブースを開設し、以下のような研究成果を担当研究者が説明しました。

- (1) 水稻の温暖化影響評価のための「モデル結合型作物気象データベース」(桑形恒男・吉本真由美・今川俊明)
- (2) 温室効果ガスの自動サンプリング装置と温室効果ガス3成分同時分析計の開発(秋山博子・須藤重人)
- (3) エタノールを用いた新規土壌くん蒸方法の開発(小原裕三)
- (4) 核磁気共鳴(NMR)による固体の非破壊状態分析(平舘俊太郎)

- (5) 微生物インベントリー(對馬誠也・北本宏子・小板橋基夫・藤井毅)
- (6) 生分解性プラスチックを強力に分解する微生物(北本宏子・小板橋基夫・藤井毅)
- (7) インターネットによる歴史的農業環境閲覧システム(岩崎巨典・デイビッド スプレイク)
- (8) 1kmメッシュ単位で推定した農業統計データベース(神山和則)

(広報情報室 廉沢 敏弘)

